

姫路市
Vol. 2

離島移住を考えているあなたに

坊勢



漁師の守り神 神権さん



世帯数

合計 795世帯



人口

合計 1803人
(令和7年6月末時点)



坊勢ってどんなところ？

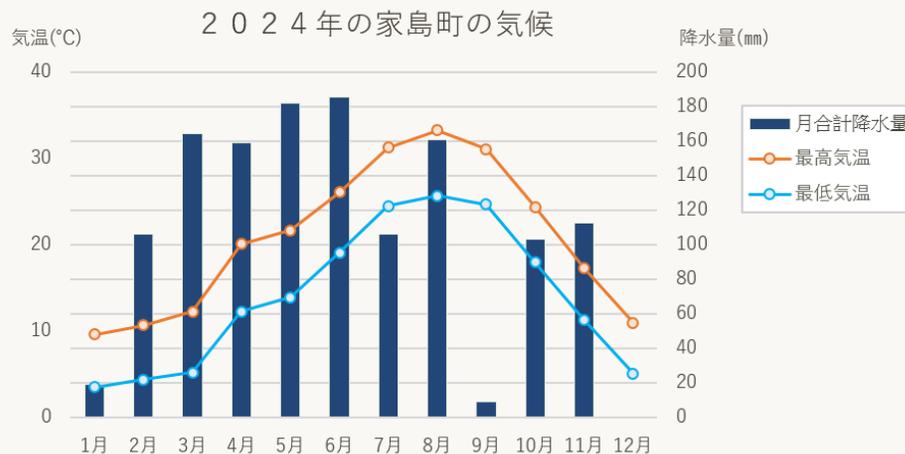
坊勢島は姫路港から南西に約18キロメートル、瀬戸内海（播磨灘）に浮かぶ漁業が大変盛んな島です。

気候は典型的な瀬戸内海気候であり四季を通じて温暖で雨も少ない住みよい地域です。

島の面積は小さく、平地が少ない地形のため、山の斜面に家々が所狭しと建ち並ぶ独特な景観が形成されています。この密集した街並みは、戦後の日本の食卓を支えた漁業の活気を今に伝えるシンボルです。

公共の施設

 学校	幼稚園 小学校 中学校 が1校ずつ	 コンビニ	1軒
 医療関係	診療所 1軒	 金融・郵便	ゆうちょ銀行 なぎさ信用金庫
 商店	島内に7カ所 ※グーグルマップ登録 店舗	 行政手続き	1ヶ所



(坊勢小学校付近からの眺め)

島へのアクセス

坊勢島の魅力の1つにアクセスの良さが挙げられます。

姫路の中心部である姫路駅からバスと船を乗り継いで、島にはおよそ1時間ほどで到着します。

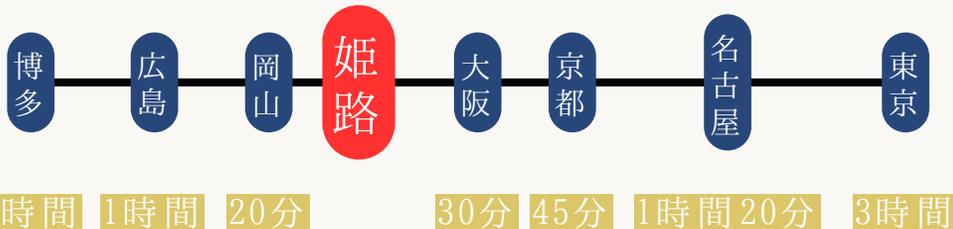
バスは1時間に2便、定期船は日に16便あります。姫路港の近くには、駐車場が整備されているので自家用車の利用も可能です。
※島へのカーフェリーはありません。

島内の移動手段は道幅が狭く、坂道も多いことから、自転車やバイク（スクーター）が主に利用されています。



姫路駅から新幹線

(家島から姫路駅までは約1時間)



姫路駅から在来線

JR新快速

大阪 1時間
神戸/三ノ宮 40分

山陽電車 阪急・阪神電車

大阪梅田 1時間40分
神戸/三ノ宮 1時間10分



(坊勢漁港の様子)

姫路駅

30分



姫路港

30分



坊勢島

Access 交通

島の自慢

兵庫県下でも1、2を争う水揚げ高を誇る坊勢島はまさしく「漁業の島」です。年間で200種類以上もの水産物が水揚げされ、これは海の恵みが多種多様であることを意味します。日々の食卓に旬で新鮮な海の恵みが並ぶ、そんな【海とともにある暮らし】がここにあります。

島という環境でありながら、来島者に積極的に声をかける優しい島民性は、移住を考える方の不安を和らげてくれるでしょう。島内の地域行事に外部からでも参加しやすい懐の深さと心の優しさがこの島の魅力です。

また、一日の仕事終わりに港へ広がる夕景はまさに格別の美しさです。赤く染まる空と漁船のシルエツトが織りなす情景は、島の日常にそっと寄り添い、疲れた心を癒してくれるでしょう。このかけがえのない景色の存在も坊勢島での暮らしを特別なものにしてくれます。

自然豊かな環境



四季折々の草花に
時間を感じよう

漁師の守護神



海と祈りが交差する島の神域

新鮮な海の幸



県下1,2を争う水揚げ量が自慢

夕陽スポット



坊勢島の夕陽には虹がかかる

Pride
誇り

Annual event

年中行事

坊勢島では夏と秋を中心に
お祭りやイベントが行われます。



ぼうぜ ペーロンフェスタ

熱い島の祭典で坊勢島の青年
有志が結成した「坊勢酔龍
会」はこのイベントから生まれ
た強豪チームです。



お盆行事

1日目はカラオケ大会、2日
目3日目は盆踊り大会があり
ます。カラオケや仮装大会
で島中が盛り上がります。



秋祭り～大人屋台～

境内で行われる八度差しが
最大の見せ場です。



秋祭り～子ども神輿～

子どもたちも大漁旗のアーチを
くぐり本殿を目指します。



島外の方も参加可能な珍しい地域行事
1つの舟を16～20名で漕いで競いあう

真夏の地域交流イベント

ぼうぜ ペーロンフェスタ



島の漁業

坊勢島は漁業の島として資源管理や環境保全にも積極的に取り組んでいます。また、観光業との連携により、島の漁業文化を体験できるプログラムなども展開され新たな魅力の発見につながっています。

坊勢島の漁業は豊かな海の恵みと人々の技術・知恵が生み出すまさに「海とともにある暮らし」の象徴です。令和6年度には年間の水揚げ量が800トンを超えており、日本一登録漁船数が多い島としても知られています。

最新の魚群探知機やGPS機器を活用しながらも、

長年の経験で培われた海や潮、環境を見極める技術が共存する

そんな多様性あふれる坊勢島の漁業を一部ご紹介します。

沖だし



運が良ければ、
大船団が見れるかも

ドブネ



船の中央部がプールになっている
中型まき網漁を特徴づける船

底びき船



船後方の三角クレーンが
チャームポイントの底びき船

海面養殖



(提供：姫路市水産漁港課)

日本人20人のうち1人が食す、
坊勢島の海苔養殖場

Industry
産業

きんちやく網 (中型まき網漁)

大型の群れを狙うきんちやく網漁はまるで海に大きな袋を投げ入れるように、魚の回遊に合わせて一気に取り囲み、巻き上げる漁法です。

坊勢島では主にサバやボラなどの魚を狙います。漁獲後には【ドブネ】と呼ばれる専用船が出動し、魚を生かしたまま生簀へと運搬します。

網を仕掛けるタイミング、潮の流れ、魚の動きすべてを読む高度な技と、チームで連携する操業体制が、この漁業を支えています。



ばっち網(船びき漁)

2艘の船で網を曳く、坊勢島伝統の漁法「ばっち網」。イカナゴやシラスなどを大量にすくいあげる迫力の漁は、島の風物詩。海を読み、タイミングを見極める技は、代々受け継がれてきた漁師の誇りです。



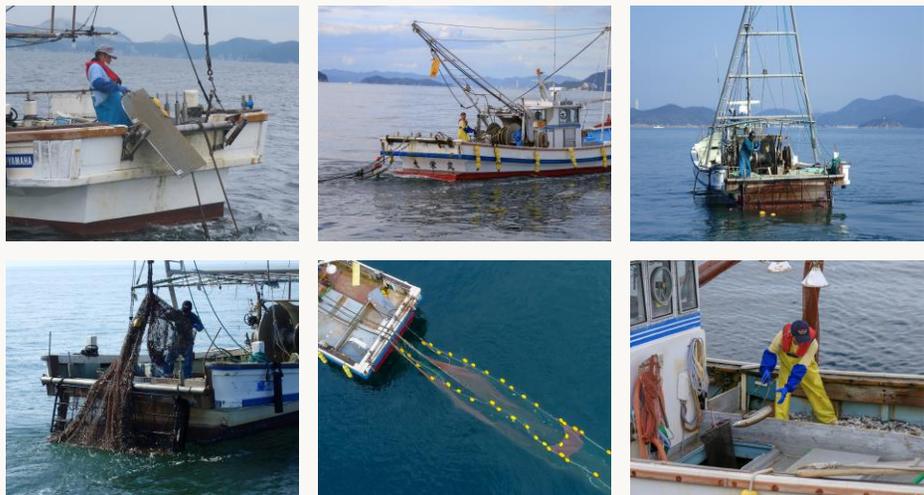
ジャッカーと呼ばれる運搬船と3隻が一组となり操業します

さわらはなつぎ網

【さわらはなつぎ網漁】はこの地域独特の漁法で漁業協同組合が実施している漁業体験船ツアーでも人気の漁法です。網を絞り込むときに2艘の船が船首(鼻っ面)を合わせる様子からこの名が付けました。



底びき網



坊勢島では海底を網で曳いて魚介を獲る【底引き網漁】が一年を通して行われています。対象はカレイガザミ、ハモ、エビなど多岐にわたり、漁師は多い時で一日15回以上も単独で操業することがあります。兵庫県内で最も多くの底びき漁船を有する坊勢ではこの漁法が暮らしの根幹を支えています。

網の投入から引き揚げ選別までを一人でこなす技術と集中力はまさに【海の職人】そのもの。穏やかな海の底で行われる粘り強い営みが島の台所を支えています。

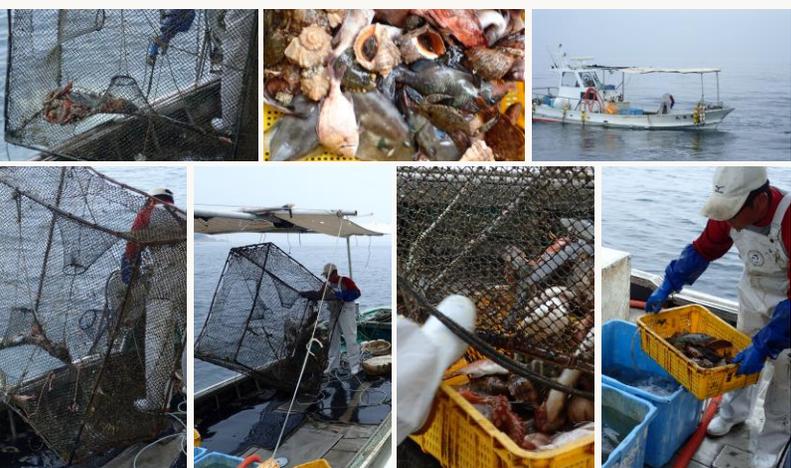
小型定置網

地域や対象によって若干構造が異なり、【つぼ網】、または【ます網】とも言います。群れで遊泳するアジの他、スズキや小型のマダイ、アカエイなど、沿岸帯の遊泳魚が漁獲され、生きたまま港へと水揚げされます。



かご漁

かご網は一辺が2m程の四角の網を海底に仕掛ける漁法です。坊勢近海では岩礁底に、1〜2週間程度、仕掛けられることが多く、定置網と並び活魚出荷がしやすい漁法です。



ノリ 養殖業

近年、最も勢いのある水産業がノリ養殖業です。兵庫県は全国の養殖のり生産量の32%を占める日本一の養殖のり生産県（2024年度）です。この数字をもとに計算すると坊勢地区だけで全国のおよそ5%を生産していることとなります。日本人20人のうち1人が坊勢島のノリを食べていると考えると、そのすごさが伝わるのではないのでしょうか？

基本の味付け海苔の他にも塩ノリやふりかけなど商品ラインナップも増えてきています。小さな島から生まれる大きな恵みはまさに地域の宝です。



兵庫県播磨灘海域でも養殖が行われています。

通常、牡蠣は出荷までに2〜3年を要しますが、この地域では山々からの豊富な栄養分と徹底した生産数管理の下で、1年というごく短期間で立派に出荷サイズまで成長します。クセがなく、コクと旨味が強いことが特徴で、カキの苦手な方でもファンになるくらい食べやすいと評判です。もう1つ

カキ養殖業

の特徴は加熱しても縮みにくく、生の状態とほぼ同じサイズを維持できるため、食べ応えがあります。とりわけ鍋の具にすると縮みにくさが一目瞭然で、見た目もふっくらして食感もぷりぷりです。姫路まえばれ市場で開催される、かきフェアには多くの方が訪れ、舌鼓を打っています。





観光

島の暮らしを「覗きにおいで」



坊勢島の朝日が作る光の道



漁師の守り神 神権さん



秋祭り的一幕



島のあちこちに漁具が干されている



坂の上に建てられた家々



坊勢島独特の出買船



秋祭りの祭事の様子



名物の干ガレ

観光情報

家島観光事業組合

営業時間

10:00-16:20

ウェブサイトは

コチラ→



079-325-8777

079-287-9911

災害への対策

坊勢島が属する姫路市は、「山崎断層帯地震」や「南海トラフ地震」による災害が心配されていますが、自然災害が少ないエリアと言われています。

幸いにも近年は台風などで大きな被害は発生していません。

※リスクを否定するものではありません

坊勢島では、住民有志で結成する消防団員さんの活動が積極的です。特に、台風の時期には島民が協力して船同士をつなぐ台風つなぎや浮栈橋を波の弱いところに移す作業が行われます。

また、姫路市のホームページでは各種ハザードマップを掲載していますので、ご確認ください。



姫路市ハザードマップ

台風つなぎ



船同士を繋いで
台風にも備える

浸水防止の土嚢



高潮二モ負ケズ

消防艇



(提供：姫路市警防課)

船の火災や海岸近くの火災に
姫路港から出動

乗り場の避難



乗降用の台船を取り外し
避難させる渡船の職員



引越しについて

坊勢島への引越しは【時期】と【情報収集】が最も重要な項目です。

【時期】

離島への引越しということもあり、業者探しは通常の倍の時間がかかります。可能な限り繁忙期を避けることをお勧めします。

【情報収集】

何よりも「確認と連絡」はこまめに行いましょう。当たり前と思っていることでも可能な限り、確認をお願いします。「姫路市政策局ふるさとプロモーション推進室」、「JLC兵庫ぼうぜ島支部」、「自治会（区会）」などに相談して情報収集しましょう。

※「思っていたのと違う」が最も不幸なので、お仕事や地域のルールなど気になった部分は積極的に質問しましょう。

Question.1

引越して荷物を送った時はどうしましたか？



私の場合はゆうパックでした。本土と同じ感覚で届いて感動しました！



僕は配送業者が姫路港までしか対応できなかったため、貨物船会社に引き渡しをお願いしました。

※貨物船会社＝海運業者のこと



家電の場合、姫路のお店で買った方が地元（旧住所）から送るよりも安上がりかもです。



自家用車で運ぶ時は、貨物船会社に直接電話して相談に乗ってもらいました。



旧住所で配送業者に電話窓口で配送を断られた場合も姫路の支店に相談すると意外と対応してくれました。

Moving

引越し

姫路市 ひめじ創生戦略室
ふるさとプロモーション担当
☎ 079-221-2833



Question.3

その他、暮らしについて
アドバイスはありますか？



食料品や日用品（電球、延長コードなど）は、島の商店で買うことが多いです。



島のガスはプロパンガスです。



休日はよく本土（姫路駅周辺・関西圏など）に遊びに行っています。



もし、島の外で買い物をしたら、定期船に持ち込めない大きさの物は貨物船会社に依頼しています！

Question.2

定期購入やお取り寄せなど、通販で
気をつけていることはありますか？



私の場合、たまに到着予定日より早く荷物が届いていることがありますね。



僕は基本的に、配送業者→貨物船会社という流れなので、業者のアプリの配送状況報告をあまりアテにしてません。



私は置き配が多いため、貨物船会社には事前に連絡してもらおうようにお願いしています。



できるだけ備考欄に「〇〇貨物船 指定。」と書いて再配達の問い合わせをしやすくしてます。



大事なものや定期購入の場合は利用する貨物船会社を固定するようにしています。



代引きの場合などは、たまに「港から島まで」の輸送費が別で必要な場合があります。



謝辞

本誌を作成するにあたり、地域の様々な方の思いや地域の歴史文化に触れることができました。

私たち地域おこし協力隊も、ますます家島地域が好きになりました。これからも地域おこし活動に励みますので応援よろしくお願いします。

巻末にはなりましたが快く、取材への対応、写真の掲載許可、ご提供をいただいた皆様に深く、感謝申し上げます。

姫路市

家島諸島地域おこし協力隊

一同

協賛一覧 (順不同 / 敬称略)

坊勢区会

延喜式内大社 家嶋神社

坊勢漁業協同組合

家島観光事業組合

坊勢輝汽船株式会社

坊勢渡船有限会社

坊勢貨物株式会社

幸運丸海運有限会社

NPO法人JLC兵庫ぼうぜ島支部

地域住民の皆さん

姫路市

制作・著作



住むほどに
好きが深まる
姫のまち

姫路市
家島諸島 地域おこし協力隊

